スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

兵庫県養父市

自 治 体 名 ： 兵庫県養父市
担 当 課 名 ： 教育委員会こども学び課
電 話 番 号 ： 079-664-1627

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	422㎢
人口	20,485人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	501人
部活動数 （運動部活動のみ）	20部活
地域クラブ活動数	3クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

【現状】

現在、運動部活動は、軟式野球部、男子ソフトテニス部、男子バスケットボール部、男子卓球部、女子ソフトボール部、女子ソフトテニス部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部が活動している。

少子化に伴い、軟式野球部及び女子ソフトボール部は、市内中学校で合同チームによる活動を行っている。

生徒数の減少により部活動の種目数も減少し、生徒の選択肢が限られている。そのため、小学校から継続して取組んできた種目を中学校でも続けられない状況が生じている。

指導者については、競技経験のない教員が指導を担う場合もあり、教員の大きな負担となっている。

今後、昨今の出生者数の推移を踏まえると、団体スポーツの将来的な存続は難しくなることが予想される。

【課題】

部活動や地域のクラブ活動において、生徒のニーズに応じた多種多様なスポーツ活動を提供することが必要である。

指導者については、教職員の働き方改革を推進するとともに、専門的な指導による活動の充実を図るため、地域人材を積極的に確保し、部活動指導員の配置を進める必要がある。

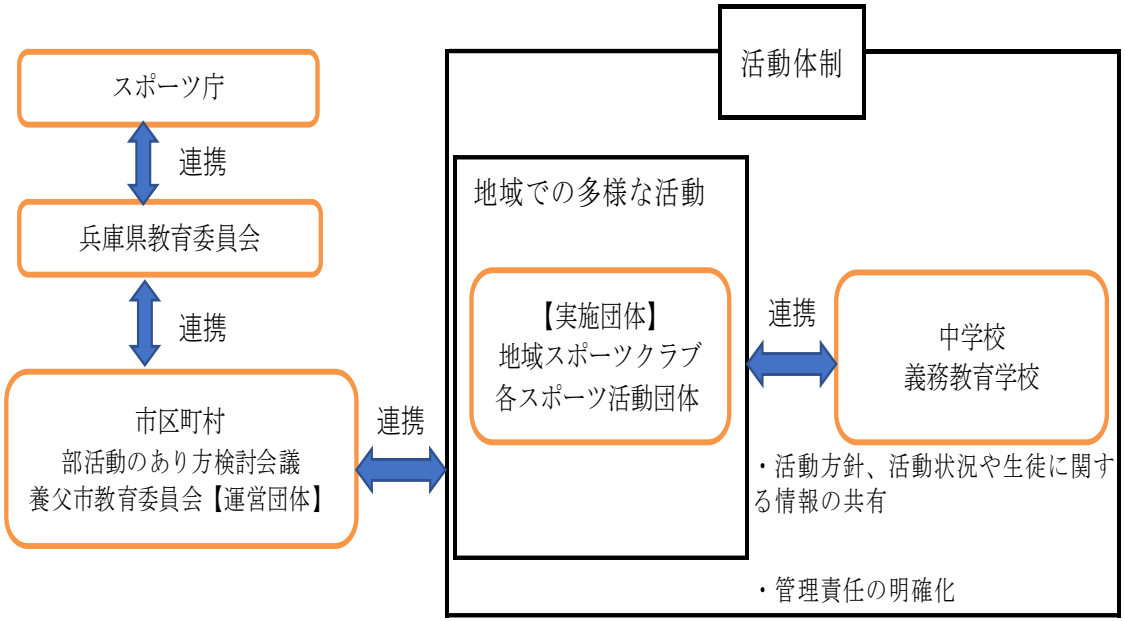
長年にわたり、部活動は学校教育の一環として運営されてきたという認識が生徒、保護者、地域に根強く存在する。今後、地域展開を進めるにあたり、部活動が教育課程外の活動であることを関係者が理解することが求められる。同時に、地域展開の推進に向けて、学校教職員以外の地域内指導者及び部活動の受け皿となるクラブ団体の掘り起こしと確保を進めていく必要がある。

活動する種目数、質、量の確保という観点からも、現状のままでは対応が難しく、生徒にとって持続可能で適切なスポーツ環境を整備していくことが求められる。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・こども学び課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携
・教育課…中学生の地域文化活動の施設整備
・100年のまなび共創課…学校施設開放事業、スポーツ安全保険の加入促進事業

◉首長部局

・経営総務課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和7年4月	地域クラブの周知 ・地域展開についての市広報配布 ・各クラブ活動紹介チラシを児童生徒対象に配布 地域活動参加者支援金の案内
令和7年5月	部活動、地域活動参加状況調査
令和7年7月	地域クラブの活動状況調査
令和7年10月	部活動、地域活動アンケート（児童生徒対象）
令和7年12月	令和8年度地域クラブ募集
令和8年1月	新入生保護者対象説明会 地域クラブの活動状況調査
令和8年2月	部活動のあり方検討会議 令和8年度活動地域クラブ対象説明会
令和8年3月	地域クラブ活動の周知

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		3クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1クラブ
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		2クラブ
全体の指導者数	8人	全体の運営スタッフ数	8人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
養父市剣道クラブ	競技団体	剣道	・平日4回／週 ・休日1回／週	19:00~21:00 16:00~19:00	中学1年5人 中学2年1人 中学3年2人	通年	6人	6人	1,000円/月	中体連：部活動
但馬アスリートクラブ養父市教室	民間業者	陸上	・平日3回／週	7:00~8:00	中学2年3人 中学3年4人	通年	1人	1人	4,000円/月	記録会出場
D-crew	競技団体	ダンス	・平日2回／週 ・休日2回／月	16:30~18:30 9:00~12:00	中学1年1人 中学2年6人 中学3年2人	通年	1人	1人	1,500円/月	イベント出演

2.実証内容と成果

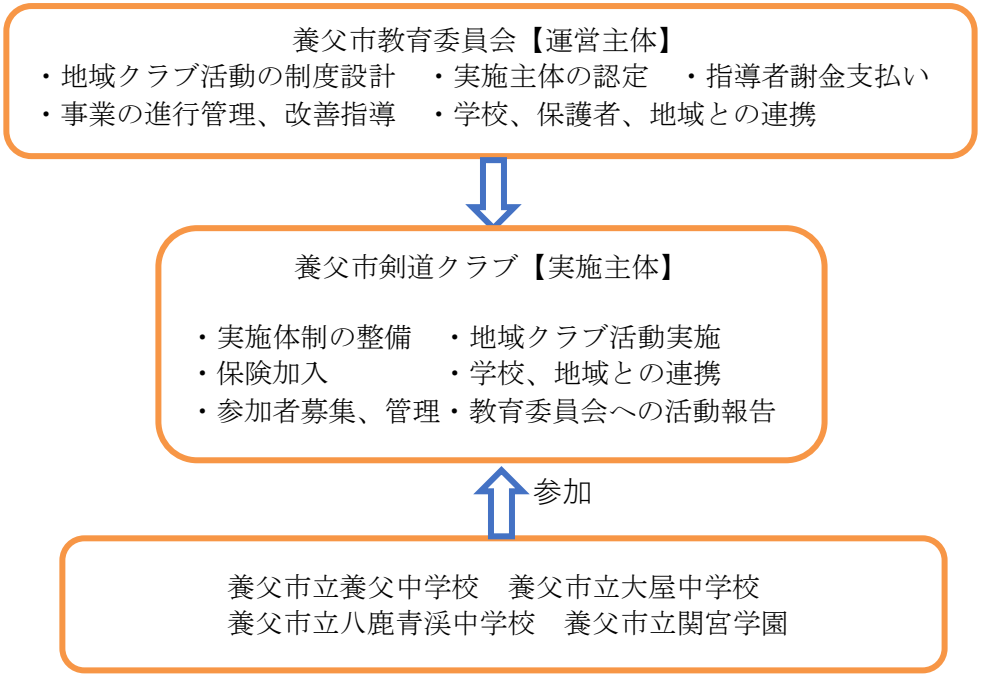
スポーツ庁

主な取組例

●養父市剣道クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営団体名	養父市剣道クラブ
期間と日数	通年 平日4回／週 休日1回／週
指導者の主な属性	剣友会員
活動場所	市体育館、学校体育館
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	12,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,450円/年 指導者1人あたり：1,200円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●指導者

役割：生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

令和7年度は、令和6年度に創設された地域スポーツクラブの運営基盤を強化するとともに、新たなクラブ創設に向けた支援を継続した。「養父市部活動のあり方検討会議」で示された方針に基づき、市スポーツ協会や地域団体との連携を深め、指導者確保や活動場所の調整等、地域展開に必要な環境整備を進めた。また、地域クラブ運営のメリットを広く伝えるため、市ホームページや広報紙を活用し、保護者・地域住民への情報発信をした。市教育委員会の担当者が活動内容や安全管理に関する助言を行う等、地域クラブが安定して活動できる体制づくりに取組んだ。

取組の成果

令和7年度は、1年を通して安定的に活動を行い、「養父市立中学校における（運動・文化）部活動の方針」に準じた活動日数・時間を維持することができた。指導者の確保や活動場所の調整についても、市教育委員会と地域団体が連携して対応したことで、クラブ運営の負担軽減につながった。また、中体連加盟クラブについては、大会参加が実現し、生徒の競技意欲向上に寄与した。さらに、地域クラブの活動内容を広報したことで、地域住民の理解が進み、新たな協力者や指導者候補の掘り起こしにもつながった。これらの取組により、地域展開の基盤が着実に強化された。

今後の取組における課題

地域クラブへの理解は徐々に広がっているものの、依然として「学校での部活動が当然」という意識が一部に残り、地域クラブへの参加に抵抗感を示す保護者・生徒が存在する。また、クラブ運営に必要な指導者やサポート人材の確保は継続的な課題であり、特に専門性の高い競技では人材不足が顕著である。さらに、クラブの活動成果や安全管理体制について、保護者が安心して参加を判断できるだけの情報提供が十分とは言えず、地域クラブの魅力や利点を可視化する取組が求められる。加えて、地域全体でクラブを支える意識醸成や、学校との連携強化も引き続き課題として残っている。

課題への対応方針

地域クラブへの参加に不安を抱く保護者・生徒に対しては、市ホームページや広報紙を活用し、活動内容・安全管理・指導体制等を分かりやすく発信することで理解促進を図る。また、クラブの成果や参加者の声を紹介し、地域クラブの魅力を具体的に示すことで参加意欲の向上につなげる。さらに、体験会や説明会を開催し、実際の活動を見て触れる機会を提供することで、抵抗感の軽減を目指す。指導者確保については、市スポーツ協会や地域団体と連携し、地域人材の掘り起こしを進める。学校との協働体制を強化し、持続可能な地域展開モデルの確立を目指す。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

令和7年度は、指導者の質の保障と量の確保を重点に据え、市教育委員会担当者が定期的に指導者と面談を行い、指導方針や活動状況について協議する体制を整えた。さらに、実際の練習場所を訪問し、指導方法や生徒の反応を観察することで、具体的な改善点を助言し、指導力向上を図った。また、地域連携を継続し、市の会計年度任用職員として地域人材を積極的に配置するとともに、市ホームページや広報紙を活用して幅広く指導者を募集した。これらの取組により、指導者のニーズ把握と支援体制の強化が進み、質と量の両面で安定した指導環境の整備を目指した。

取組の成果

定期的な面談や活動内容、活動場所の観察を通じて、指導者の課題やニーズが明確になり、具体的な改善策を提示することで指導の質が向上した。指導者からは「指導方法の見直しにつながった」「生徒の反応を踏まえた助言が有益であった」といった声も寄せられ、実践的なスキル向上に結びついた。また、市の広報媒体を活用した募集により、新たな指導者を確保することができ、量の確保にも一定の成果が見られた。これにより、複数の競技で安定した指導体制が維持され、生徒にとって継続的で質の高い活動環境が提供できた。

今後の取組における課題

指導者の質向上に一定の成果は見られたものの、研修機会の不足や専門性の高い競技における指導者確保は依然として課題である。また、活動場所の確保や安全管理体制の強化等、指導者が安心して活動できる環境整備には継続的な支援が必要である。さらに、学校・保護者・地域団体との連携が十分とは言えず、情報共有の不足が指導者の負担増につながる場面も見られる。指導者の意見やニーズを定期的に把握し、関係者間で共有する仕組みを構築することが求められる。これらの課題を解決しなければ、持続可能な地域スポーツ活動の発展は難しい状況にある。

課題への対応方針

指導者の発掘・マッチング・配置を強化し、地域や学校と連携した募集体制を整える。また、指導者研修を開催し、指導技術や安全管理に関するスキル向上を図る。活動環境の整備については、施設の調整や備品の確保を進め、指導者が安心して指導できる環境を整備する。さらに、学校・保護者・地域団体との協働体制を強化し、情報共有の場を設けることで、指導者の負担軽減と活動の質向上を図る。生徒との交流機会を増やし、信頼関係を深めることで、持続可能な地域スポーツ活動の発展につなげたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

令和7年度は、地域スポーツ活動の基盤を強化するため、市教育委員会の担当者がスポーツ協会や競技団体の会議に参加し、地域展開の方向性や学校との連携方法について説明を行った。特に、競技団体との協働を重視し、各種目の現状や課題を共有する場を設けることで、地域クラブの運営に必要な支援体制を整えた。また、企業や地域団体との協力を進め、指導者不足の解消に向けた人材紹介や研修機会の確保にも取組んだ。さらに、市のスポーツ施設については管理者と調整し、クラブが利用しやすい環境づくりを進めた。これらの取組により、地域全体でスポーツ活動を支える連携基盤の強化を図った。

取組の成果

スポーツ協会や競技団体との連携が進んだことで、地域クラブの活動調整がより円滑になり、各種目での情報共有が活発化した。企業との協力により、専門的な知識を持つ人材の紹介が増え、指導者確保に一定の成果が見られた。また、施設管理者との調整により、練習場所の確保が改善され、クラブが安定して活動できる環境が整った。これらの連携強化により、地域クラブの活動参加者が増加し、学校と地域の役割分担も明確になった。結果として、地域スポーツ活動の質が向上し、地域全体で生徒を支える体制がより強固なものとなった。

今後の取組における課題

連携体制は強化されつつあるが、指導者不足は依然として大きな課題であり、特に専門性の高い競技では人材確保が難しい状況にある。また、地域クラブと学校の連携が長期的に維持されるためには、関係者間の情報共有や役割分担の整理が必要である。さらに、生徒のニーズが多様化する中で、競技種目の拡大や活動内容の調整が求められているが、関係団体間の調整が十分とは言えず、柔軟な対応が課題となっている。施設利用においても、時間帯の競合や場所の不足が生じており、活動環境の整備が求められる。これらの課題を解決することで、持続可能な地域スポーツ活動の発展が期待される。

課題への対応方針

指導者不足の解消に向けて、企業や競技団体との協力をさらに強化し、人材発掘や紹介の仕組みを整備する。また、生徒のニーズを把握するため、定期的なアンケート調査を実施し、その結果を基に関係団体と協議しながら活動内容を調整する。施設環境の改善については、管理者と連携し、利用調整の効率化や設備の充実を図る。さらに、地域住民や保護者の理解促進のため、説明会や体験会を開催し、地域スポーツ活動の意義を共有する。これらの取組を通じて、学校・地域・行政が協働し、持続可能なスポーツ環境の構築を目指す。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

令和7年度は、「養父市剣道クラブ」「但馬アスリートクラブ養父市教室（陸上）」「D-crew（ダンス）」の3クラブが活動した。市教育委員会はスポーツ協会や中学校長会で地域展開の方針を説明し、学校との連携を強化した。また、指導者不足が見込まれる競技については企業や地域団体と協力し、人材確保に努めた。市の体育施設や公民館とも調整し、クラブが活動しやすい環境整備を進めた。

取組の成果

養父市剣道クラブは指導者が複数名おり、平日4回・休日1回の練習を安定して実施している。但馬アスリートクラブ養父市教室は指導者1名で平日3回の専門的な練習を行い、D-crewも指導者1名で公民館を活用し平日2回の活動を行っている。参加者からは「学校ではできない貴重な体験ができていて楽しい」「小学生とも仲良くなれる」といった声があり、保護者からも「専門的な指導がありがたい」「子どもが自信を持つようになった」と肯定的な意見が寄せられている。

今後の取組における課題

剣道クラブは指導者が多く安定している一方、但馬アスリートクラブ養父市教室とD-crewは指導者が1名のみで負担が大きい。また、学校施設と地域施設の利用調整が難しく、特に平日の活動場所の確保が課題となっている。活動の周知が十分でないため、参加者拡大に向けた広報の強化も必要である。これらの課題を解決しなければ、地域スポーツ活動の継続性に影響が出る可能性がある。

課題への対応方針

指導者が1名のクラブについては、複数指導者体制の構築を進め、企業やスポーツ団体と連携して人材発掘を強化する。活動場所については、市の施設管理者と連携し、利用調整を計画的に行う。広報活動は、市ホームページや広報紙、SNSを活用し、活動内容や成果を積極的に発信する。体験会や説明会を通じて地域の理解と協力を促し、参加者の裾野を広げることで、持続可能な地域スポーツ活動を目指す。



養父市剣道クラブ 実践練習

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

通学している学校部活動に所属せず、地域活動（スポーツ・文化芸術）活動に参加している生徒の家庭の経済的負担軽減と充実した活動を目的に、参加に係る経費を「養父市地域活動（スポーツ・文化芸術）参加者支援金」として一部支援した。

地域クラブが市の施設を利用する際の施設利用料について財政面で支援した。

取組の成果

「養父市地域活動（スポーツ・文化芸術）参加者支援金」として一部支援することで、地域のクラブで活動しようとする意識を高めることができた。

今年度は新一年生が入学する前から周知活動を行うことで、地域のクラブ活動で参加しようとする生徒の後押しをすることができた。

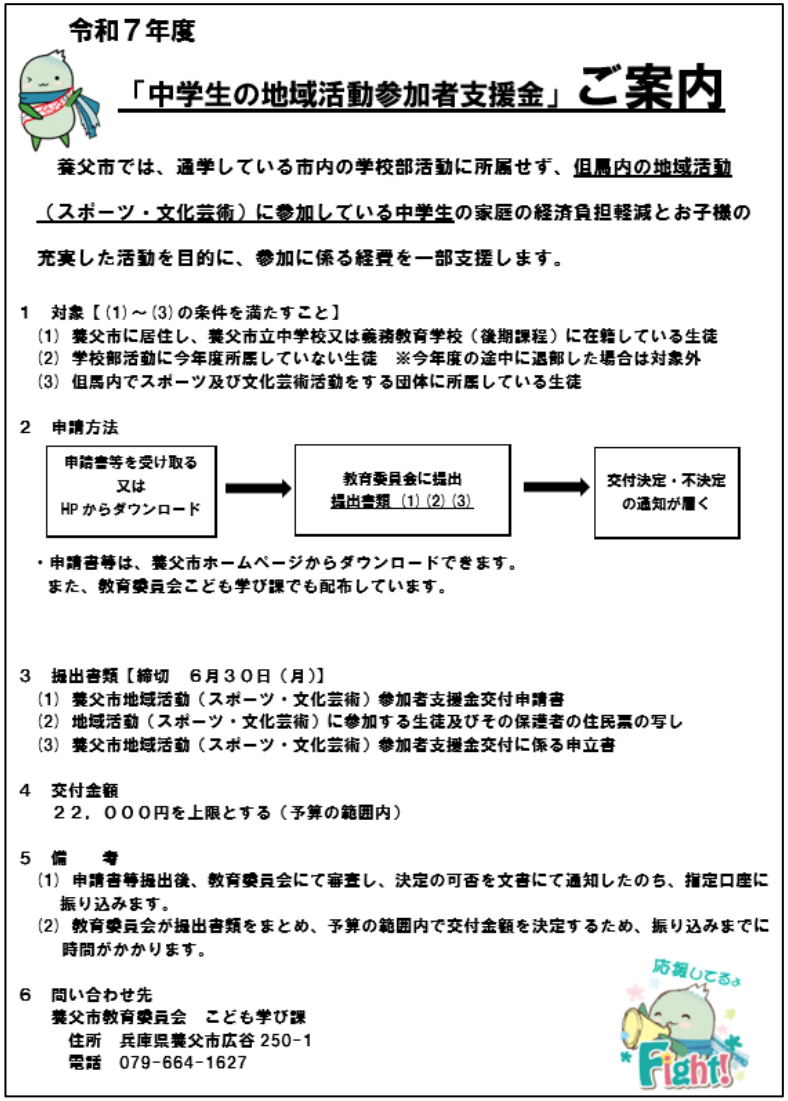
今後の取組における課題

「養父市地域活動（スポーツ・文化芸術）参加者支援金」として一部支援しているが、今後も継続して支援することは部活動地域展開が進むにつれて財源確保が多額になるため難しい。

課題への対応方針

「養父市地域活動（スポーツ・文化芸術）参加者支援金」を継続していく財源確保に努めると同時にクラブへ参加する参加費の設定も各クラブと協議していき、参加しやすい参加費設定をしていく。

地域クラブが市の施設を利用する際の施設利用料の減免等については、複数の施設の管理者と連絡調整が必要なため、今後も継続して協議していきたい。



令和７年度

「中学生の地域活動参加者支援金」ご案内

養父市では、通学している市内の学校部活動に所属せず、但馬内の地域活動（スポーツ・文化芸術）に参加している中学生の家庭の経済負担軽減とお子様の充実した活動を目的に、参加に係る経費を一部支援します。

1　対象【(1)～(3)の条件を満たすこと】
(1) 養父市に居住し、養父市立中学校又は義務教育学校（後期課程）に在籍している生徒
(2) 学校部活動に今年度所属していない生徒　※今年度の途中に退部した場合は対象外
(3) 但馬内でスポーツ及び文化芸術活動をする団体に所属している生徒

2　申請方法
申請書等を受け取る 又は HP からダウンロード → 教育委員会に提出 提出書類 (1) (2) (3) → 交付決定・不決定の通知が届く

・申請書等は、養父市ホームページからダウンロードできます。
また、教育委員会こども学び課でも配布しています。

3　提出書類【締切　６月３０日（月）】
(1) 養父市地域活動（スポーツ・文化芸術）参加者支援金交付申請書
(2) 地域活動（スポーツ・文化芸術）に参加する生徒及びその保護者の住民票の写し
(3) 養父市地域活動（スポーツ・文化芸術）参加者支援金交付に係る申立書

4　交付金額
２２，０００円を上限とする（予算の範囲内）

5　備　考
(1) 申請書等提出後、教育委員会にて審査し、決定の可否を文書にて通知したのち、指定口座に振り込みます。
(2) 教育委員会が提出書類をまとめ、予算の範囲内で交付金額を決定するため、振り込みまでに時間がかかります。

6　問い合わせ先
養父市教育委員会　こども学び課
住所　兵庫県養父市広谷 250-1
電話　079-664-1627

応援してるよ Fight!

養父市教育委員会

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和7年度、養父市における学校部活動の地域展開は、令和5年度からの取組を基盤として、地域スポーツクラブの創設と運営体制の強化が着実に進んだ。少子化による部活動種目の縮小や指導者不足といった課題が続く中で、学校・地域・行政が連携し、持続可能なスポーツ環境を整えることが求められてきた。本年度は、養父市剣道クラブ、但馬アスリートクラブ養父市教室（陸上）、D-crew（ダンス）の3クラブが活動し、地域が主体となって中学生を受け入れる体制が整備された。市教育委員会はスポーツ協会や中学校長会で地域展開の方向性を共有し、活動場所の確保や指導者の支援体制を整える等、地域クラブの運営基盤を支えた。各クラブでは「学校では体験できない練習ができる」「他の学校の仲間と活動できて楽しい」といった肯定的な声が寄せられた。一方で、指導者の負担や広報不足等の課題も明らかとなり、次年度に向けた改善の方向性も見えてきた。

●成果の評価

学校部活動の地域展開が着実に進んだ点が大きな成果である。剣道クラブでは複数指導者による質の高い指導が実現し、陸上クラブとダンスクラブでは専門性を生かした活動が展開された。参加者からは「練習が楽しい」「上達を実感できる」といった肯定的な声が多く、保護者からも「専門的な指導が受けられる」「地域で長く関われる場ができた」と評価されている。また、学校・地域・行政の連携が強まり、活動場所の調整や情報共有が進んだことで、地域クラブの運営基盤が整備された。これらの成果は、地域全体で生徒を支える体制づくりに寄与している。

●今後に向けて

今後は、指導者不足の解消と現在ある学校部活動の受け皿となる認定地域クラブの創設、活動場所の安定確保が重要な課題となる。特に指導者が1名のクラブでは負担が大きく、複数指導者体制の構築が不可欠である。また、活動の周知が十分でないため、広報手段を多様化し、地域住民や保護者に向けて積極的に情報発信し、指導者確保やクラブ創設支援を行っていく必要がある。さらに、学校施設と地域施設の利用調整を計画的に行い、クラブが継続して活動できる環境を整えることが求められる。体験会や説明会を通じて地域の理解と協力を促進し、参加者の裾野を広げることで、持続可能な地域スポーツ活動の発展を目指す。これらの取組を通じて、養父市における学校部活動の地域展開をさらに推進していきたい。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参考資料



【養父市剣道クラブ　基本練習】



【但馬アスリートクラブ養父市教室　長距離練習】



【但馬アスリートクラブ養父市教室　短距離練習】



【D-crew　ダンス練習】

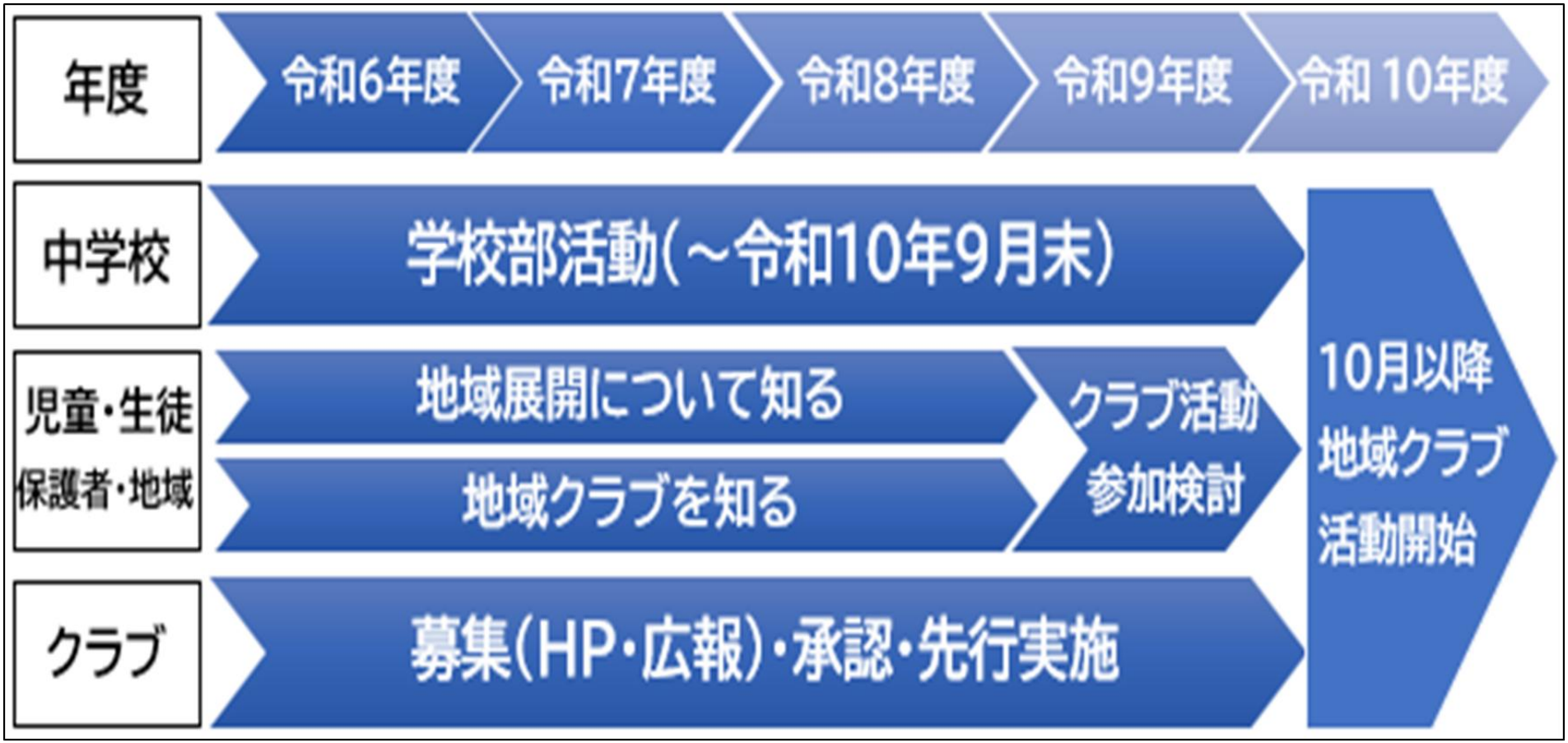
2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

養父市の学校部活動の地域展開は、学校部活動を令和10年10月を目途に終了し、中学生のスポーツ・文化芸術活動を地域へ展開する。

市教育委員会が学校、児童生徒、保護者、地域住民、スポーツ団体、文化団体へ情報提供を行い、地域展開の意義や仕組みを伝える。生徒や保護者は、仕組みを理解した上で地域クラブ活動への参加を検討する。市教育委員会は地域クラブの募集を行い、承認して先行実施を進める。参加する側、受け入れる側の相互理解と準備を積み重ねて令和10年の地域クラブ活動を開始する。



3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

養父市学校部活動の地域展開の計画は、令和6年度に事業計画を策定した。令和7年度には地域展開の意義について幅広く発信した。令和8年度以降は、先行実施している地域クラブの活動を発表していく。情報発信する機会を増やしていき地域全体で学校部活動の地域展開に取組みたい。

R7
- 学校部活動地域展開の周知（教育委員会だより市内全戸配布・PTA総会・CATV・記者発表）
- 養父市チャレンジ活動（やぶ☆チャレ）名称決定　活動団体をやぶチャレンジクラブ（やぶ☆チャレクラブ）
- 教職員の兼職兼業説明（教職員対象）
- やぶ☆チャレクラブ、指導者の募集（学校部活動分野・種目限定募集期間）
- 学校部活動地域展開へ向けて説明（６年生児童保護者希望者対象）

R8
- 地域展開先行実施クラブのクラブ員募集
- 学校部活動地域展開へ向けて説明（６年生児童保護者希望者対象）
- やぶ☆チャレクラブ、指導者の募集
- 学校部活動地域展開へ向けて情報発信

R9
- 地域展開先行実施クラブのクラブ員募集
- やぶ☆チャレ開始に向けクラブ代表説明会
- やぶ☆チャレクラブ、指導者の募集
- 学校部活動地域展開へ向けて説明（６年生児童保護者希望者対象）
- 学校部活動地域展開へ向けて情報発信
- 令和10年度開始やぶ☆チャレクラブのクラブ員募集（１回目）

R10
- やぶ☆チャレクラブのクラブ員募集（２回目）
- やぶ☆チャレ開始

